

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年6月15日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2026年5月22日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
<b>留学先大学について</b>	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ノーザン州立大学(日本語名) Northern State University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年8月～2026年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 商学部 現地言語での名称: Business Administration  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月上旬 2 学期: 1月下旬～5月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	人
創立年	1901年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 155 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	交換型のため
宿舍費	5,500ドル	0 円	
食費	4,500ドル	0 円	
図書費	100ドル	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	0	30,000 円	
現地交通費	0	0 円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	300ドル	0 円	
旅費(留学中)	0	1,500,000 円	ボストン、カリフォルニア 2 回
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	0	95,000 円	形態: 明治大学指定の保険
渡航旅費	0	410,000 円	
ビザ申請費	0	80,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	10,400 (=1,612,000 円)	2,115,000 円	
総計(A+B) ※円		3,727,000 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

## 渡航関連

### 渡航経路

往路 出発地：羽田 目的地：アバディーン 経由地：ミネアポリス

復路 出発地：アバディーン 目的地：羽田 経由地：ミネアポリス・韓国

### 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：Delta 航空 料金：30 万円

復路 航空会社：アジアナ航空 料金：11 万円 ∴合計：41 万円

### 航空券購入方法

旅行代理店(店名： )

インターネット(サイト名：Delta 航空/trip.com)

その他( )

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前：GPE)  アパート  ホームステイ

2) 部屋の形態

個室  相部屋(同居人数 )

3) 共有部分

バス  トイレ  キッチン( 自炊可  自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学の寮の申し込み

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮は GPE がおすすめ。売店があり、新しく、きれいなため。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: \_\_\_\_\_ )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: \_\_\_\_\_ )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の大学からメールで情報が流れるため、それをチェックしていた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

全く問題なかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ソニー銀行の口座に日本の親から送金してもらった。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

インスタントの味噌汁や、日本のお菓子は持っていき来れだと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
History 151 - The United States to 1877		アメリカ史 I
科目設置学部・研究科	HIST	
履修期間	2025 年秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Dr. Ric Dias	
授業内容	アメリカの成立から南北戦争ごろ	
試験・課題等	3 回ほどテストがあった。	
感想を自由記入	教授が留学生に対してフレンドリーだったので質問なども気軽にしやすい。 試験に出る可能性のある内容を教えてくれるので対策しやすい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Fundamentals of Speech Communication	スピーチコミュニケーション基礎
科目設置学部・研究科	CMST
履修期間	2025 年秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・実践(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Justin Gus Foote
授業内容	スピーチの効果的な技法、構成の仕方を学び、実践する。
試験・課題等	様々なテーマのスピーチが 4 回
感想を自由記入	スピーチを作り、覚えるのは大変だが、スピーキング力が鍛えられたと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intercultural Communication 3 credits	他文化間コミュニケーション
科目設置学部・研究科	CMST
履修期間	2025 年秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・グループワーク・プレゼン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 分が 回
担当教授	Dr.Tanya White
授業内容	現地学生はもちろん、様々な国からの留学生が履修しており、文化ごとのコミュニケーションの違いについて学ぶ。
試験・課題等	プレゼン・課題
感想を自由記入	アメリカだけでなく、色々な国のコミュニケーションの違いが学べて興味深い。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Management	国際マネジメント
科目設置学部・研究科	BADM
履修期間	2025 年秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義・グループワーク・プレゼン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Amber Henderson
授業内容	国によって異なる企業風土やビジネススタイルについて学ぶ。
試験・課題等	試験が 4 回・課題が毎週
感想を自由記入	楽ではないが、先生が優しい。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Marketing Management	
科目設置学部・研究科	BADM
履修期間	2025 年秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Dr. Hannah Walters(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Dr. Hannah Walters
授業内容	マーケティングの手法について学ぶ。
試験・課題等	試験 4 回・プレゼン・課題毎週
感想を自由記入	楽ではないが、先生が優しい。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Personal Finance	個人金融学
科目設置学部・研究科	BADM
履修期間	2026 年春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr.Josh VanLaecken
授業内容	個人がどのように自分の資産を運用していくか学ぶ。
試験・課題等	試験 3 回・課題毎週
感想を自由記入	専門用語がたくさん出てくるが、解説が細かいので大丈夫。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principles of Accounting I	会計学
科目設置学部・研究科	BADM
履修期間	2026 年春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 3 回
担当教授	Professor Olson
授業内容	アメリカの簿記について学ぶ。
試験・課題等	試験 4 回・課題毎週
感想を自由記入	日本の簿記と共通する部分が多い。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	ミクロ経済学
科目設置学部・研究科	ECON
履修期間	2026 年春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. K. H. Lee
授業内容	ミクロ経済学についての講義
試験・課題等	テスト 3 回・課題
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	マクロ経済学
科目設置学部・研究科	ECON
履修期間	2026 年春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Dr. K. H. Lee
授業内容	マクロ経済学についての講義
試験・課題等	テスト 3 回・課題
感想を自由記入	

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。  
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。  
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	IELTS 取得、選考、留学先決定
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	留学先へ出願、書類準備、予防接種
	8月～9月	ビザ取得、出国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学をすると決めたら、すべきなのは、準備しかありません。

出願しようと考えたら、行きたい大学を見つけ、そこに必要な GPA や IELTS/TOEFL の点数を調べ、そこに向けた準備を早めに始めるべきです。

出願前も大変でしたが、留学先の大学が決まってからは別の大変さがあります。明治大学や留学先の大学から提出すべき書類が知らされたら最短でそれに取り組むべきです。また、ビザを申請できる状態になったら、全ての予定よりも優先して取り組むべきです。私は書類が揃ってから一週間後にビザ申請の準備を始めたのですが、トランプ大統領がビザを制限すると発表した時だったので、予約を取るのが困難になってしまいました。そのため、出国日の一週間前になっても、留学できるかどうか分からない状態でした。

こういった準備に最短で取り組むと、英語の勉強や奨学金の申し込みに余裕を持って取り組むことができます。

正直、準備は大変で「まだ行ってないのに留学しんどい、、、」となりますが、そこを乗り越えると楽しい留學生活が待っているので頑張ってください！！